

1 学校教育目標

「進んで学習する子ども」「仲良く助け合う子ども」「礼儀正しい子ども」「元気でじょうぶな子ども」

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	◎ 夢 はばたく 梅島小学校 「子どもにとって安全・安心な学校」、「教職員が高め合う学校」、「保護者や地域と共に子供をはぐくむ学校」
○児童・生徒像	う：運動で体を動かしきたえ合い め：目で見つめ心でみつめて思い合い じ：じっくり考え学び合い ま：まじめにやりぬき高め合い
○教師像	・子どもの実態を的確に把握し、適切な指導ができる教師 ・主体的に課題解決をしながら、職務を遂行できる視野の広い教師 ・人間愛にあふれ、明るく前向きに対応する教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

学級数18学級、児童数約600名。創立133周年を迎える歴史と伝統のある学校である。全国小学校道徳教育研究会全国発表校、区学力向上推進モデル校、都OJT推進モデル校、都校務改善推進事業、都伝統・文化教育推進校と伝統的に研究等に取り組んできた成果を生かして、教員一人一人の指導力を高めるとともに、学校全体の組織力も高めている。

【前年度の成果と課題】

○ 重点的な取組事項－1「学力向上アクションプラン」

- (1) 成果：年度初の通過率は国語85.4%・算数85.1%。つまずきの解消に向けて、パワーアップタイムや補習学習の充実に取り組んだ。
(2) 課題：教科指導専門員制度や小中連携事業を通じて、日常の学習指導の改善を図っていく。

○ 重点的な取組事項－2「安全・安心な学校生活環境の充実」

- (1) 成果：学校評価アンケートで全項目が「そう思う」50%以上。取組に対して高い評価をいただいた。特に「安全な生活環境」では65%だった。
(2) 課題：引き続き、課題を整理し、保護者や地域と連携した安全指導や環境整備等に取り組んでいく。

○ 重点的な取組事項－3「保護者や地域と共に子供を育む活動の充実」

- (1) 成果：学校評価アンケートの2項目が「そう思う」50%以上。取組に対して高い評価をいただいた。特に、「情報発信の充実」では70%だった。
(2) 課題：引き続き、課題を整理し、保護者や地域と連携した教育活動の支援や情報発信の充実に取り組んでいく。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） H:平成 R:令和				
		R1	R2	R3	R4	R5
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	安全・安心な学校生活環境の充実	○	○	○	○	○
3	保護者や地域と共に子供を育む活動の充実	—	○	○	○	○

5 令和3年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
基礎的・基本的な学習内容の 確実な定着		年度初 : 2教科とも85%以上 年度末 : 2教科とも70%以上		年度初 : 国語83.5%・算数84.5% 年度末 : 国語74.5%・算数68.6%		算数のつまずきの解消に努めていく。		△	
B 目標実現に向けた取組み									
新・ 継	アクション プラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
継続	①パワーアップタイム : 漢字・計算等の基礎的・基本的な学習内容	○全学年 ○国語・算数	○毎週8:25～8:40 火曜(国語) 水曜(算数) 金曜(読書)	○担任 ○区調査や単元末テストで定着率の低い漢字や計算の習熟 ○漢字・計算等	○パワーアップテスト : 漢字・計算 : 年3回実施 ※6月は前学年の内容	○漢字(6・11・2月) : 目標値: 80点以上 通過率: 85%以上 ○計算(6・11・2月) : 目標値: 90点以上 通過率: 85%以上	○漢字 3月通過率 83.6% ○計算 3月通過率 87.8%	漢字に関してはもう一歩であった。学年や学級間の差の解消に努めていく。	△
継続	②放課後補習教室 : 前学年及び現学年の学習内容の確実な定着	○区調査目標値未達成児童 ○単元末テスト正答率70%未満 ○国語・算数	○毎週火曜放課後 30分間以上	○全教員 ○個別もしくは少人数で指導 ○区学力調査、単元テスト、ベーシックドリル等	○区調査再実施 4・7月: 前学年の内容 1月: 現学年の内容	○区調査再実施(1月) : 国語・算数 通過率: 70%以上	・2月通過率 国語74.5% 算数68.6%	算数に関して、つまずきの大きい学年がある。解消に努めていく。	△
継続	③家庭学習週間: 家庭学習の習慣化	○全学年 ○国語・算数	○6・9・11・1月 : 各月1週間	○担任・保護者 ○「家庭学習カード」による学習習慣の定着	○各学年の目標値の達成率	○家庭学習週間(1月) : 目標達成率75%以上	・1月達成率 79.3%	継続して啓発していく。	○
継続	④ICT機器を活用した授業改善	○全教員 ○全教科・領域	○年間	○全教員 ○全教科・領域 ○タブレットの活用	○教員アンケート : 1月	○教員アンケート : 週3回以上タブレットを活用85%以上	○週3回以上活用 100%	今後は家庭学習等にも効果的に活用していく。	○
新規	⑤小中連携事業による授業力向上	○全教員 ○国語・社会・体育・図工	○年間	○学年主任以外の教員 ○公開授業と協議会 ○成果を授業改善に	○公開授業と協議会の実施	○年度末までに : 学年主任以外の全教員が公開授業を実施	○学年主任以外の全教員が実施	感染症対策のため計画の変更は生じたが達成。	○
新規	⑥算数チャレンジ	○全学年 ○算数	○年3回 (7・12・3月)	○大学と連携した算数の基礎的な学習内容の定着	○「問題なし」の児童の割合(3月)	○全項目「問題なし」の児童の75%以上	○1月の達成率 14/43	実施について検討する。	●

重点的な取組事項－2		安全・安心な学校生活環境の充実			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
子供がより安全に、安心して学ぶことができる環境の確立		学校評価アンケート ：「そう思う」50%以上 2項目以上	学校評価アンケート ：「そう思う」50%以上 1項目	前期は3項目ともに50%以上の評価をいただいたが、後期は回収率も低下	△
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
(1) 安全な生活環境の確立	学校評価アンケート「安全な生活環境」 ：「そう思う」50%以上	①いじめ予防会議やSOSの出し方教育、研修会の開催 ②多様な避難訓練や安全指導、避難所訓練への参加等の防災減災教育の実施 ③ICTの活用した点検項目・方法の改善や保護者・地域の協力による安全マップの作成	「そう思う」：53% ①いじめ未然防止会議を毎月開催。SOSの出し方教育を実施 ②水害や2次避難等の訓練を実施。避難所運営訓練は中止 ③安全点検を毎月実施・補修、役員PTA役員会等で意見聴取	「そう思う」：前期の65%から低下したが、肯定的評価は98%に向上。各種の取り組みや情報発信の成果と考える。引き続き、充実を図っていく。	○
(2) 健やかな心と体の育成	学校評価アンケート「健やかな心と体」 ：「そう思う」50%以上	①給食通信等による食育の啓発、目標残菜率2%以下 ②メール等を活用した歯科治療勧告、治療率10%向上 ③伝統文化体験や「もったいない」大作戦、マイベストプログラム等の実施 ③体育指導の充実や教材教具の整備、運動週間、梅小キッズ等の運動環境整備	「そう思う」：42% ①給食便りや給食通信、給食試食会による啓発、残菜率2.3% ②治療勧告、学校配信メールの活用、治療率11.5%以上向上 ③伝統文化体験や「もったいない」大作戦、マイベストプログラム等を実施 ③体育の教材教具の整備や各種運動週間等の運動環境を整備	「そう思う」：前期の51%から低下したが、肯定的評価は91%とほぼ変化なし。各種の取り組みや情報発信をさらに充実させていく必要がある。次年度は、年間を通じた体力向上の取り組みを計画・実施していく。	△
(3) 誰もが学び、生活しやすい環境の構築	学校評価アンケート「学び、生活しやすい環境」 ：「そう思う」50%以上	①ユニバーサルデザインを活用した教室やワークスペース、トイレ等の環境整備 ②男女混合名簿の活用や多様性の認知、言語環境、研修等の人権教育の充実 ③在籍学級との連携や個人カルテ、研修会等の特別支援教育の充実	「そう思う」：43% ①視覚的な靴箱表示の作成や全校で統一した指導を実施 ②全学級で多様性を認める授業やポスター作成と掲示を実施 ③ふり返しカードや個別カルテによる担当と担任との情報共有	「そう思う」：前期の50%から低下したが、肯定的評価は96%に向上。各種の取り組みや情報発信をさらに充実させていく。次年度は、特に人権教育の取組をさらに充実させていく。	△

重点的な取組事項－3		保護者や地域と共に子供を育む活動の充実			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者・地域と連携した教育活動の充実		学校評価アンケート ：「そう思う」50%以上 2項目以上	学校評価アンケート ：「そう思う」50%以上 2項目	「参観や説明の機会」、 「学校行事の充実」に 関して高い評価をいた だいた。	○
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
(1) 学校と保護者、地 域との連携活動の 充実	学校評価アンケート「保 護者や地域との連携」 ：「そう思う」50%以上	①Zoom 等を活用したゲスト ティーチャーによる体験活動 ②保護者と連携した安全管 理や運営支援等の教育活動支 援ボランティアの活性化 ③開かれた学校づくり協議会 や地域と連携した環境整備 や地域行事の活性化	「そう思う」36% ①リモート社会科見学や日本茶体 験教室、水道キャラバン等を実施 ②図工や校外学習、授業公開時の 安全管理や、漢字検定等を実施 ③開かれた学校づくり協議会主催 による五重奏演奏会や花壇等の環 境整備を実施	「そう思う」：前期の 49%から低下したが、 肯定的評価は 90%に 向上。各種の取り組み や情報発信の成果と考 える。引き続き、充実 を図っていく。	△
(2) 情報発信の充実	学校評価アンケート「参 加や報告の機会」 ：「そう思う」50%以上	①学校ホームページを活用し た教育活動やPTA、協議 会の活動の定期的な配信 ②学校メールの効果的な配信 に向けた体制の充実 ③ICT を活用したアンケート の回収や集計方法の試行	「そう思う」66% ①保護者会(3回)、土曜授業公開、 各種発表会、道徳授業公開を実施 ②ホームページや学校配信メー ル、Googleclassroom で情報発信 ③ICT による第2回学校評価を実 施 アンケート回収率 37.4% (第 1回の紙面回収率 66.9%)	「そう思う」：前期と同 じ評価をいただき、肯 定的評価は 100%を達 成した。各種の取り組 みや情報発信の成果と 考える。引き続き、充 実を図っていく。	○
(3) 望ましい人間関 係の構築	学校評価アンケート「楽 しく充実した学校生活」 ：「そう思う」50%以上	①児童の発想を生かした学校 行事の事前事後指導の充実 や生徒会との交流 ②「なかよし班」等を活用し た異学年交流活動の充実 ③いじめ防止や挨拶運動など 児童会による学校生活の改 善に向けた主体的な取り組 みの実施	「そう思う」61% ①挨拶キラキラ運動や迎える会、 もったいない運動等を実施 ②行事の事前事後指導を充実さ せ、感染症対策を講じて実施 ③感染症対策による活動内容の工 夫や行事後の児童相互のメッセー ジの交換等を実施	「そう思う」：前期の 60%から 1%向上し、 肯定的評価も 97%に 向上。各種の取り組み や情報発信の成果と考 える。引き続き、感染 症対策を講じながら、 充実を図っていく。	○

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

◎ 重点的な取組事項－1 学力向上アクションプラン

前期に実施した区学力に関する総合調査では、国語・算数ともに昨年度よりも通過率は向上したが、目標とする通過率85%にもう一步であった。今年度は、その解消のために小中連携事業を核とした授業改善や、「パワーアップタイム」・「放課後タイム」等の補充学習の充実に努めてきた。その結果、2月の通過率は国語74.5%、算数68.6%。算数のつまずきの解消に努めていく。

◎ 重点的な取組事項－2 安全・安心な学校生活環境の充実

目標とした学校評価アンケート「そう思う」50%以上の評価をいただいた項目は、後期では「安全な生活環境」1項目のみ。前期に比べると、3項目ともに低下している。「だいたいそう思う」を加えた肯定的評価は、大きな変化は見られないため、「そう思う」と評価していただくための取り組みの内容や情報発信をさらに充実させていく必要がある。保護者や地域とともに連携を深めながら、安全な環境整備の充実に取り組んでいく。

◎ 重点的な取組事項－3 保護者や地域と共に子供を育む活動の充実

目標とした学校評価アンケート「そう思う」50%以上の評価をいただいた項目は、2項目。特に、「情報発信」と「楽しく充実した学校生活」に関しては、60%以上を達成できた。これは、制約の多い状況下での本校の取組を評価していただいた結果と考える。引き続き、積極的な情報発信と安全・安心を第一に考えた学校行事を実施し、保護者や地域との連携を深めていく。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

子どもの発達段階を考慮しながら、6年間の小学校の教育活動を系統的に展開できるように取り組んでいきます。学力向上部を中心に、系統的な学習指導を展開するための授業改善とともに、学習の成果を検証し、つまずきを確実に解消していくための「学力向上アクションプラン」の改善に取り組んでいきます。また、個別支援委員会を中心に子供が学び・生活しやすい環境の構築にも取り組んでいきます。

さらに、子供が主体的に学びを深めていくことができるように、体験的な学習を効果的に展開していきます。そのためには、保護者や地域の方々の支援が必要不可欠です。PTAや開かれた学校づくり協議会の方々にご協力いただきながら、教育活動の充実に努めていきます。

子供にとって安全・安心な環境づくりにも、保護者や地域の方々のご協力が不可欠です。ご多用な状況の中でも、子ども達のための安全管理や学校行事の運営にご支援をいただけるような仕組みをPTA役員や協議会委員の方々と相談しながら、構築していきます。

今後も、必要な情報を積極的に発信し、情報共有しながら、子供が安全に安心して学ぶことのできる環境づくりを進めていきます。

(3) その他（学校教育活動全般について）

校務分掌組織がより効果的・効率的に機能するように、組織改善に取り組んでいきます。「教員の働き方改革」を推進していくためにも、各分掌が担当する職務内容を明確にするとともに、各分掌を統括する主任を効果的に配置し、組織として充実させていきます。そして、教員が子供と向き合う時間やゆとりを確保していきます。

また、子供が安全に安心して学び・生活できるように学校生活環境の改善を推進していきます。子供の生活状況を踏まえた週時程や学校行事の改善を推進していきます。

さらに、保護者や地域の方々が学校の教育活動に対する理解を深め、積極的に支援をしていただけるように情報発信の充実に取り組んでいきます。日常の学習活動や学校行事がより安全に効果的に展開できるように、保護者や地域の方々にボランティアや外部講師として活動していただけるシステムを創っていきたいと考えています。